

久喜市卓球連盟表敬訪問



バタフライ第48回全国レディース卓球大会のダブルスC（合計年齢126歳以上）で優勝された、久喜市卓球連盟の小澤春枝さん、松村孝江さんが市長を表敬訪問しました。小澤さん、松村さんは、8月3日、久喜市卓球連盟久喜支部主催の「第34回久喜オープン卓球大会」においてもシニア部門で優勝を獲得しています。

久喜工業高等学校ダンス同好会が市長を訪問



▲表敬訪問時に華麗なパフォーマンスを披露する杉浦さん

8月11日～13日に開催された全国高等学校ダンスドリル選手権大会において、久喜工業高等学校ダンス同好会に所属する杉浦崇遠さんがMR.DANCE DRILL TEAM男子（個人部門）に出場されました。本部門の出場者は全国で6人、うち関東からは杉浦さんのみ選出されました。

東京2025デフリンピックのPRキャラバンカーが久喜市にやってきました



9月24日、東京2025デフリンピック大会の魅力を伝えるため、全国を巡回しているキャラバンカーが久喜市にやってきました。久喜市役所玄関前で行われたセレモニーでは、市内の聴覚障がい者や手話サークルの方が見守る中、久喜市出身の女子バスケットボール日本代表の川島真琴選手による決意表明のほか、参加者による川島選手への応援エールが行われ、大変盛り上がりしました。

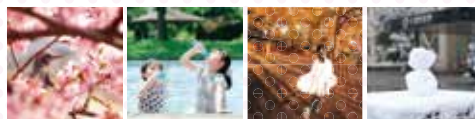


▲当日の様子（ショート動画）

広報紙 × Instagram 連動企画 #kukimemo

あなたの写真を 広報くきで紹介します！

- 市公式Instagram [kuki_brand_info] をフォロー
- 写真を撮影 久喜市内で撮影したものなら何でもOK！
- 「#kukimemo」と「#撮影場所名」を付けて投稿してね！



※今月の#kukimemoはお休みです。

不定期連載企画 久喜の人じまん ー第4回ー

久喜市にゆかりがあり、全国的に活躍されている方を紹介する「久喜の人じまん」。今回は、11月に開催される聴覚障がい者のための国際スポーツ大会「東京2025デフリンピック」に、女子バスケットボール日本代表として出場する川島真琴さんです（久喜市出身・在住）。デファスリートにとって最高峰となる大会での活躍が期待されます。

interview

「多くの人にデフスポーツを知ってもらいたい」

かわしま まこと
川島 真琴

Makoto Kawashima

―デフバスケットでは、音が聞こえない中でどのようにコミュニケーションを取るのですか。―
川島さん 試合中は目からの情報しかないのですが、コート上の選手同士はもちろん、監督の指示も目で見て確認します。常に周りをよく見るように意識し、チーム全体でアイコンタクトをとっているんです。セットプレーもサインが決まっています。グーを出したらこの動き、チョキを出したらこの動き…という感じです。―バスケの技術はもちろん、コミュニケーションも非常に重要になってくるんですね。デフバスケの魅力はどんなところですか。―
川島さん 音声でのコミュニケーションがない中で、アイコンタクトやサインを使って瞬時に意思疎通をするところですね。デフバスケを初めて見た時は本当に静かで、「これでバスケできるの!」って驚いたんですけど、そこで自分自身の視野の狭さに気付かされました。デフバスケを始めたことで、もっと周囲を広く見ること、仲間を見ることの大切さを感じたんです。

―デフリンピック代表に決まった時のお気持ちは。―
川島さん ドキドキとワクワクでした。世界選手権には出場したことがありますが、デフリンピックは特別です。日本は前回バスケットで出場できなかったのですが、今回の出場は本当にうれしいです。で、今回の出場は本当にうれしいです。し、多くの人にデフスポーツを知ってもらうきっかけになると思っています。―今日のセレモニーにもたくさんの方々が応援に来てくださってましたね。ちなみに、川島さんは久喜市公式YouTubeの手話コーナーにも出演されていますね。（5ページ参照）―
川島さん 実は大学生までは手話ができませんでした。デフの仲間と話すために大学時代に手話を覚えました。手話を通じて本当に世界が広がったので、皆さんにも手話の楽しさを実感してもらえたらうれしいです。―久喜市での思い出は。―
川島さん 小中学生の頃は栗橋やさしさとときめき祭りに毎年友達と行って、すごく楽しかったですね。あと夏が大好きなので、地元のくりはし夏祭りや久喜の提燈祭りにも行っていましたよ。



▲手話は「デフリンピック」の意

姉の影響でバスケットボールを始めた川島さん。小学4年生のときにデフバスケの世界を知り、中学3年生から本格的に練習を開始、着実に実力を積み重ねてきました。目標としていた大会を目前に控えた川島さんに、デフバスケへの想いや大会への意気込みをお聞きました。



▲片手で「まこと」を意味するチーム内のサイン。漫画「まことちゃん」のグワシが元になっているという。

―最後に市民の方にメッセージを。―
川島さん デフリンピックを通じて、デフバスケやデフスポーツのことを知ってもらえたらと思います。そして手話や指文字にも興味を持ってもらえたらうれしいです。今のチームはとても強いので、金メダルを目指して頑張ります！ 応援よろしくお願いします。

試合スケジュール（グループリーグ）

11月18日（火）15時30分 ウクライナ戦

11月20日（木）15時30分 ギリシャ戦

場 大田区総合体育館（東京都）

※観戦無料、申し込み不要。

また、デフリンピック公式

YouTubeチャンネルで

各競技ライブ配信を予定。

詳細はデフリンピックホー

ムページをご覧ください▼



栗橋小学校・栗橋東中学校・久喜高校卒業。東京2025デフリンピック女子バスケットボール日本代表。昨年アジア太平洋デフバスケットボール選手権大会にも日本代表として出場し、金メダルを獲得。普段は補聴器を着用し、通常のバスケの練習にも参加している。ラーメンが大好きで、久喜で一番好きなお店は「麺場もっけい」。

告 廣

ガス給湯器
石油給湯器
エコキュート

便器・ウォシュレット
水まわりの修理・取替工事

ホームページ <https://www.234126.jp>
クレジットカード・QR決済使えます

水栓・シャワー
配管修理取替
システムバスキッチン

久喜市北青柳1236-1
建設業許可(般-5)第62310号
定休日 日曜、祝日、第2・4土曜

株式会社 カキヌマ

水道、下水道、久喜市指定工事店
0480(23)4126